

令和6年度 第4回 学校運営協議会 議事録

- 日時 令和7年2月4日(火) 14:30～
- 場所 群馬県立藤岡中央高等学校 大会議室
- 委員 地域住民4名(近隣中学校長、地元区長、幼稚園園長、青年会議所)、保護者2名(PTA役員)、PTA・同窓会関係2名(会長)、学識経験者3名、行政機関1名・・・計12名(内欠席4名)
- 群馬県教育委員会 指導主事2名
- 藤岡中央高校 校長、教頭、定時制教頭、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、CS推進員

1 開会(教頭)

2 あいさつ

(1) 協議会より(会長) 入学者選抜の募集定員よりも志願者数が多い。先生方の努力の現れ。

(2) 学校より(校長) 入学者選抜の志願者数が募集定員よりも多く、ひと安心している。生徒に対して、育てたい力・心について熟議してきた。生徒につけたい12の力とともに、学校運営方針に反映させたので、ご意見、ご指導いただきたい。学校評価について担当から説明する。合同発表会の6班が発表する。生徒が、自分の言葉で発表の質問に答える時間にしたい。藤岡市の課題を考える「ふじおか未来探究」の成果の1つとして、3年生の3人が考えた「ゴミ出しマナー問題」の研究が、市との協働事業に採用された新聞記事を紹介。指導主事2人の紹介。

3 令和7年度学校運営方針について

(1) 全日制学校評価一覧表の資料説明(教務主任)

評価CやDに対する説明(生徒指導主事、進路指導主事)

- ・授業への取り組みが進路実現にかかわりがあると考えている生徒が80%以上。

教科横断的な授業の実践や課外授業等に対応していく。

- ・日頃の清掃活動や環境美化に積極的に取り組む生徒が70%以上。

教員は、生徒はもっとできるはずだと期待している。

- ・生徒の自転車登下校時における交通事故が10件未満。

生徒の意識を高めるために、スケアード・ストレイト教育技法(スタントマンによる事故再現)による自転車交通安全教室などを実施していく。

- ・いじめの防止や早期発見に関する学校の取り組みに理解を示している生徒が80%以上。

定時制学校評価一覧表の資料説明 評価CやDに対する説明(定時制教頭)

- ・出席状況良好の数が80%以上。

生徒に対する担任面談やスクールカウンセラーとの面談を通して、登校を促していく。

(2) 全体熟議・意見交換等

- ・学校評価一覧表の羅針盤について、年度ごとに目標設定を改定していく。

- ・わかりやすいように評価基準の説明をつけておく。

- ・学校運営方針「5学校と地域の連携・協働の推進」について、家庭とも連携していく。

4 未来探究合同発表会及び講評

意志ある人の未来探究 全学年合同発表会 ～学校運営協議会プログラム～

①1年がっこう未来探究

②1年きゅりあ未来探究

③3年じぶん未来探究

④3年探究コース学校設定科目(音楽探究×家庭科探究)

⑤2年ふじおか未来探究

⑥3年進学コースクロスカリキュラム(生物セミナー×保育基礎)

5 今年度のまとめ(校長)

皆様のご協力に改めて感謝する。今年度1年間をかけて協議会としての意識は揃えられたと思う。ここからがスタート。PDCAサイクルを充実させていきたいと思つので、ご協力をお願いしたい。

6 諸連絡

7 閉会(教頭)